



① 高田区

- 凡例**
- ◎ 市役所
 - 居住誘導区域
 - 都市機能誘導区域
 - 誘導重点区域
 - 地域自治区
 - 人口分布 250mメッシュ
 - R2年 総人口密度
 - 40人/ha以上
 - 洪水浸水想定区域
 - 5.0m以上
 - 3.0m以上～5.0m未満
 - 0.5m以上～3.0m未満
 - 0.5m未満
 - 家屋倒壊等氾濫想定区域
 - 河川氾濫
 - 氾濫流
 - 津波警報警戒区域
 - 内水被害要警戒箇所
 - 土砂災害警戒区域
 - 土砂災害特別警戒区域
 - ため池浸水想定区域
 - なだれ危険箇所
 - 垂直避難可能
 - 垂直避難可能
 - 要配慮者施設
 - 水害緊急避難場所
 - 土砂災害緊急避難場所
 - 津波緊急避難場所

- 図中番号凡例**
- ①-1 洪水災害(計画規模)
 - ①-2 洪水災害(想定最大規模)
 - ①-3 多段階浸水被害(降雨確率)
 - ② 土砂災害
 - ③ 津波災害
 - ④ 内水災害
 - ⑤ ため池災害
 - ⑥ なだれ災害

誘導区域内
誘導区域外

※災害ハザードのうち「①-3 多段階浸水被害」は図示していません。

災害リスクが高いエリア
一定の災害リスクは存在するが、
人口密度が低いエリア

表 災害リスクの整理 (①高田区)

災害ハザード	災害リスク	含まれる誘導区域(*)			
		居	都	重	外
①-1 洪水災害 (計画規模)	関川沿いにおいて洪水による浸水被害のおそれがあり、人口密度が高く垂直避難が困難なエリアが集中しており、エリア内に要配慮者施設も複数立地し災害リスクが高い。 関川沿いの高齢者人口割合が高い地区において災害リスクが高い。	●	●	—	—
①-2 洪水災害 (想定最大規模)	区内のほとんどのエリアで災害リスクが高く、関川沿いでは垂直避難が困難なエリアが広範囲にみられる。 家屋倒壊等氾濫想定区域に指定されている関川及び儀明川隣接地の一部において、人口密度が比較的高く、かつ垂直避難が困難であり災害リスクが高い。	●	●	●	—
①-3 多段階 浸水被害 (降雨確率)	関川沿いにおいて、現況から中長期にかけて中頻度(1/50)の0.5m以上浸水想定区域があり、高齢者人口割合の高いエリアにおいて災害リスクが高い。 想定最大規模では、現況から中長期にかけて浸水深0.5m以上の浸水想定区域が高田駅付近まで広がり、高齢者人口割合も高いことから災害リスクが高い。 浸水深3.0m以上となる中低頻度以上の災害リスクは区内には見当たらない。	●	●	●	—
② 土砂災害	災害リスクは存在しない。	—	—	—	—
③ 津波災害	災害リスクは存在しない。	—	—	—	—
④ 内水災害	区内を南北に流れる儀明川及び青田川の影響により、内水浸水被害実績箇所が散見される。加えて本区は高齢者人口割合が高く、かつ要配慮者施設の立地も多いことから災害リスクが比較的高い。	●	●	●	—
⑤ ため池災害	災害リスクは存在しない。	—	—	—	—
⑥ なだれ災害	災害リスクは存在しない。	—	—	—	—

(*) 居:居住誘導区域、都:都市機能誘導区域、重:誘導重点区域、外:誘導区域外、—:該当なし

【居住誘導区域内の災害リスクについて】

区内のほとんどのエリアが居住誘導区域であるが、特に洪水や内水災害に関し浸水区域と人口密度、高齢者人口割合、要配慮者施設の立地の関係において災害リスクが高い。